



原田 健志

教育に関する課題について

問 今、現在の学校施設耐震化の未整備に関する問題について。

答 住民・関係者の不安解消について、新しい学校構想の実現を目指している為、二重投資となるので理解をいただきたい。
問 極少規模学級の早期解消の問題について。

答 学校再編までは、現在の小規模校では、そのメリット、きめ細やかな学習指導・個別支援等を活かす、ある程度の人数が必要な場面においては、学年の枠を超えた取り組みや、近隣同規模校との交流等創意工夫していく。
問 今いる、児童生徒の耐震化未整備問題・極少規模学級の解消に向けて早期対策・早期解決を！

答 大きな地震がきても、構造的に違うので学校が潰れて、ぺっしゅんになることはあり得ない。そのような事がある時には、ハッキリ申して私が責任を取る。

問 極少規模学級の解消について、子どもの教育の為の再編と言うなら、何故今の子どもの為に出来る事に対し、説明を尽くさないのか？

答 例えば、本気で極少規模クラスを早期解消したいと考えているのならば、今すぐにでも東地区三校を一緒にしたい等、提案をするべきではないか？

答 町全体で、小学校・中学校各一校の再編計画が一定方向定まった中で、竣工までの間、耐震化のある学校に保護者の方が寄りつという事になれば、それも考える余地があるとは思う。

問 耐震化未整備不安・極少規模のクラス編成の問題点が再編整備の主な理由としているのだから、本気で問題解決していくという姿勢が必要である。保護者向け説明会開催時、将来の安全確保するから、今の子どもは今のままでと説明するのか！

答 町の示す新学校構想が具体的に進められる時点において、説明の機会に住民の総意として再編で新しい学校が出来るまで、どうするかという不安が出れば、現在ある学校の収容できる範囲で比較的新しい学校にとりあえず行くという事も実現には非常に疑問はあるものの、説明はさせていただく。

問 再編に伴う通学手段について。

答 遠距離通学となる児童生徒は通学バス等の運行を考えている。片道三十分程度のバス通学時間を目安に計画していく。

問 (特に答は求めず) これからも住民説明会をされるならば、「地震で地域指定避難所の体育館が潰れていたら、浄瑠璃シアター 徒歩いて避難しに來られたら良い」という様な説明などせず、本気の伝わる説明会をしていただきたい！

一般質問



濱 諒弘

一、新入職員の採用の行政効果について 二、教育について 三、環境創造について

新入職員の採用の行政効果について

問 新入職員を採用したのは良いが、能勢町に心のある、意欲ある人材を採用したのか？

答 適材適所に対応できる人材を総合的に採用させていただきました。

問 能勢町の役に立つ人材を採用しなければ、税の無駄使いになる。意欲はどうやって計るのか？

答 他の面接する者とも意見を集めまして、総合的に判断いたしました。

問 農業や獣害や消防や能勢町にくだしい人間を採るべきだ。

答 仕事は多岐にわたっておりまして、ルーチンの仕事もやって行かなくてはまいりません。新入職員をどうやって育てていくかに力を入れてまいります。

教育について

問 欧米の教育と比較すると日本の40人学級という制度は先進国の中でおこなわれていないか。

答 文部科学省が見直しに着手しています。

問 理想の教育を行うには10人〜20人くらいがベストではないか？40人や35人は多くないか？

答 国際的な学力の調査でも日本が劣っているという結果が出ています。20人余り、20人から30人くらいが良いかもしれませんが。

問 天王の中学生の送迎バスが年に十数回も遅れたり来なかつたりしているそうですが、一台でそれなら沢山のバスなら、もっとトラブルが増えるのでは？

答 生徒さんの数が少ないので、それぞれのニーズに合わせてとってきた経過もあります。

環境創造について

問 物産センターの売上げは伸びているが、入場者数は横ばいに見えるか？

答 カウント方法が変わりました。実質は微増の10%となります。

問 し尿処理場の進捗状況は？

答 平成24年3月の完成を目指して進めております。

問 大阪のてっぺんの売り上げが良いようですが？

答 町内の観光協会々員施設で3000冊、町外の書店で2500冊が売れております。

問 町外ではどのような書店に置いていますか？

答 紀伊國屋、旭屋、ジューンク堂や、阪急沿線のブックファースト、山下のブックプラザ、日生のサピエ、猪名川のジャスコ等、府下・近隣も含めて200か所の書店で販売されております。